



公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

INFORMATION

〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館5階 発行責任者：川又 誠 編集水木 一弘
TEL 029-243-6747 FAX 029-244-6767 E-mail mailbox@iart-web.org

令和3年7月(第3回)理事会議事録

開催日時：令和3年7月21日(水)18:00～
場所：対面(茨城県診療放射線会事務所)・ZOOMによるハイブリッド形式
出席：川又 誠, 宮本 勝美, 圓谷 明男, 村木 一夫, 瀬谷 善恭, 石森 佳幸, 奥村 英一郎, 小澤 篤史, 鈴木 達也, 鈴木 昭義, 菌部 純一, 館野 誠, 沼尻 俊夫, 根本 宏之, 野澤 哲也, 長谷川 光昭, 水木 一弘, 山下 ひろみ, 山田 公治
議長：川又誠
書記：圓谷明男

【定数確認】

事務局より、理事19名の出席が確認され定款により本理事会が成立するとの報告あり。

【報告】

【1】 会長報告

告示研修に関する都道府県への説明会(6月28日、川又会長、石森理事が参加)7月31日(土)からeラーニング(700分)が開始となる。会員は無料(非会員1万円)で受講可能となる。何度でも受講、試験が受けられる。関連資料もダウンロードができる。会員は、10月1日以降より実技講習(受講費会員1万円、非会員2万円)を行う予定となっている。告示研修を受けない場合については特別な罰則規定は無いが、医療監視時に厳しく指導する様JARTより要請する。2025年国家試験より対応となる。講習会を行うにあたりそれを補助するファシリテータの養成をする。北関東では48名養成し、茨城県の割り当てが9名となった。ファシリテータ9名については、運営委員会の人選を行ったので議事で検討いただきたい。現在RI投与は医師のみが行えるが、告示研修を受ければ診療放射線技師も可能となる。放射線照射の行為の一部とみなす。また、さらに、造影剤投与も可能となる。針刺し研修は、基本的な部位での研修となり例外的な部位に関しては各自施設で研修する。都道府県より施設内研修に関する補助金が利用できる様になる見込みである。医師の講師要請については、各都道府県で依頼をするが不可能な場合はJARTでも手配する。医学放射線学会、看護協会に協力を要請した。謝金は、医師5万円、看

護師3万円である。講習会は、100名の会場で48名の人数となり医師4名、看護師2名、ファシリテータ5～6名となる。動画や資料をファシリテータと共に見てもらい研修を行う。非会員への通知は厚労省から各医療機関に通知する。

日本診療放射線技師会と日本放射線技術学会の協議会(5月25日)2024年度以降の学術大会を合同で行う事で合意した。

関東甲信越拡大会議(7月2日)関東甲信越診療放射線技師学術大会は、群馬県(2022年6月25、26日)から開催を再開する。開催方法については、現在検討中である。次々年度は、山梨県(2023年6月24、25日)で開催が決定した。各県においても活動が十分に出来ていない状態にあり、会費減額を検討していると報告があった。茨城県では、来年度より減額する事が決定している。

第37回日本診療放射線技師学術大会:東京(11月12日～14日)ライブ配信とオンデマンド方式のハイブリット開催で行う。360演題の申し込みがあった。海外からの参加はWebのみとなる。大会終了後1か月Web配信する。事前参加登録は9月30日までなので登録をお願いする。

【2】 役員報告

報告は無かった

【3】 その他

報告は無かった



【議事】

【1】告示講習(ファシリテータ・研修費用負担等)について

川又会長：初年度のファシリテータ9名に関しては理事の施設より推薦を頂いた。北関東地区のファシリテータ養成研修は、9/18, 19, ホテルニューイタヤ(宇都宮)で行う予定となっている。ファシリテータ養成研修の交通費及び宿泊費はJARTが負担する。ファシリテータの初日の実技研修の受講費用1万円は、初年度で急遽無理をお願いしている事を鑑み茨城県診療放射線技師会で支払う事としたい。

山下理事：講習会時のファシリテータの手当ては支給されるのか。

川又会長：統一講習会時と同様JARTから支給される。

山下理事：ファシリテータに実技講習費を支払

う是非についてお聞きしたい。また支払い名目についてお聞きしたい。

川又会長：講習会が年数回行われるので統一講習会時の経験からファシリテータの負担が大きいと予想される。また、9月にファシリテータ講習会までに700分のeラーニングを受講し終了している必要もあり時間的にタイトになる。これらの負担より受講費の支給を考えた。

鈴木達也理事：任命料や委託料では出せないか。

野澤理事：支払い項目は、地方学会参加費の予算より支払うことが出来る。講習会の企画立案、環境整備、事務手続きなど年間を通してサポートしていただく大変な仕事を、無理を承知でお願いしている以上個人的な金銭的な負担は減らしたい。

村木常務理事：次年度以降についても審議した方が良いのではないか。

野澤理事：来年度からも行うのであれば予算計上の必要があると考える。

川又会長：次年度以降は、実務研修修了者になり状況が変わるので今後判断する。初年度については、茨城県の代表として出席依頼したので地方学会参加費の予算より支払うこととした。全員一致で承認した。

その他質疑

館野理事：ファシリテータの選出地区が、水戸地区、土浦地区、つくば地区と限定になっているが問題ないか。実際いつから告示研修会は開始されるのか。

川又会長：今回は、急遽状況が良くわからない状況での依頼となり時間も限られていた。また、ファシリテータの要件に統一講習会を受講者で、自発的に動ける人という人選的な制約があったため運営会議出席者の施設で選出する事とした。現時点で決まっているのは、7月31日からのeラーニングとファシリテータを要請するための講習会である。その後については、現時点ではまだ決まっていない。

【2】 会議システム (Meeting Owl Pro) 購入について

野澤理事：今後コロナが終息したとしても、遠方からで事務所に来られない時や急遽会議を行う時などWeb会議が有効であり、積極的に活用する事は会運営にとって大きなメリットとなる。しかし、現時点のPCのみのシステムでは、双方の声聞き取りにくいことや、誰が発言しているか分かりづらいなど不都合もある事から運営会議決議により会議システムの購入となった。前年度の余剰金や、これからの会費に係る交通費削減効果も考えると費用効果も大いに期待できる。菌部理事にアドバイスをしていた

きテスト運用した結果下記システムの導入となった。導入金額は、211,536円であった。

川又会長：学術など幅広く使用できる会議システムを購入しましたので、承認していただきたい。

全員一致で承認した

【3】 会議費 (通信費) について

時間の都合上継続審議とした

全員一致で承認した

【4】 技師会配布物 (インフォメーション・ときわ) のWeb閲覧化について

時間の都合上継続審議とした

全員一致で承認した

【5】 今後の研究会等参加費の徴収について

菌部理事：研究会の会費徴収について、現在はWeb講習が多いので会費はすべて無料で行われている。会員との差別化を目的とし非会員からの会費を徴収するため、m3を利用して会費徴収を行うシステムを構築した。

川又会長：登録の運用についてはどうなっているか。

菌部理事：会費徴収するには、m3への登録が必要である。ホームページ担当で分担して行う方向で考えている。

山田理事：個人登録する必要があるのか

菌部理事：個人でm3に会員登録し、決済に必要なクレジット番号等は入力する必要がある。

鈴木達也理事：m3から手数料は発生するか。ハイブリット開催時の利用は可能か。

菌部理事：従量費用 (決済代行・セキュリティ費用) として4.9%とそれに係る消費税が発生するので5.3%となる。ハイブリット開催の対応も可能であるが、会費の二重取りに注意する必要がある。

圓谷副会長：研究会参加費の非会員と会員の差別化を重点的に行いたい。また、運用方法について今後個人負担の状況から継続も含め検討する。7月27日開催の学術会議でも報告する事となった。全員一致で承認した

【6】 その他

茨城県立医療大学実習施設連絡会議 (7月28日) 後の懇談会について

川又会長、宮本副会長、圓谷副会長、村木常務理事、瀬谷常務理事、野澤理事、鈴木昭義理事計7名が参加する。

川又会長：例年9月に行われる老人ホーム慰問について、昨年同様記念品を贈る事としたい。記念品については水木理事に一任する。全員一致で承認した

会員の動向について

瀬谷理事：会員数は、2020年度末674名であ

った。7月20日現在、新・再入会16名、転入3名、転出5名、退会3名で11名増加し総計685名になった。賛助会員は10社であった。

本人希望により岡村裕之名誉会員が退会した
全員一致で承認した

長期療養等のための会費納入免除申請について
会員より産休・育休により会費納入免除申請があった。全員一致で承認した

再入会について

川又会長：会費滞納により除籍になったが再入会希望があった。JARTでは、滞納分会費5年以上経過したものは請求しないとなっており、5年経過後は通常手続きで再入会できる。茨城県の定款「入会金及び会費」第7条(2)、「会員資格の喪失」第11条(1)では、2年間の会費に相当する費用を支払い再入会するとなっている。今回は、定款に則り再入会希望者と交渉したい。全員一致で承認した

[入会金及び会費] 第7条正会員及び賛助会員になろうとする者は、総会において定める「会費等納入規程」により、入会金及び会費を納入しなければならない。2第11条第1号により退会した者が再度入会しようとする時は、前項の入会金及び会費の他に、2年分の会費を納入しなければならない。

[会員資格の喪失] 第11条第8条及び第9条のほか、会員は次のいずれかに該当するに至ったときは、その資格を喪失する。(1)第7条の支払い義務を2年以上履行しなかったとき
(2)総正会員が同意したとき(3)当該会員が死亡、又は会員である団体が解散したとき
次回11月17日(水)18:00より

令和3年度第2回学術会議 議事録

開催日時 令和3年7月27日18時30～

場所 (Web Zoom) 会議

出席：宮田 真理子. 平野 雄二. 木曾 丈晴
杉山 雅美. 若林 亮 . 田所 俊介. 佐藤 竜太
鈴木 清剛. 篠田 和哉. 藤田 法久. 本元 強
千木崎 信介. 鈴木 昭義. 山田 公治

川又 誠 会長

宮本 勝美 副会長. 圓谷 明男 副会長

書記:鈴木 昭義

議題:

1. 令和3年度 茨城県診療放射線技師会第40回学術大会メインテーマ・プログラム内容について

① メインテーマについて

「再確認！診療放射線技師における感染対策 with after コロナの世界で～」に決定

② クラスターが起きた施設やコロナ患者受入れで苦慮した施設等をパネラーとしてディスカッション形式の講演を考えている。(山田理事)

③ 一般演題は前回中止になった演者へ打診する。集まらないようなら各研究会へお願い。

④ JART 会長による特別講演(1時間程度)。ビデオ講演・現地講演は未定。選挙に当選していれば畦元先生にも打診。

⑤ ランチョンセミナーについては、会場である医療大で食事が可能なか要確認。

⑥ 現在予定している現地開催は可能か? Web対応できるかを医療大や菌部理事に要確認。

2. 研究会 会費 徴収と会計報告 について (資料1)

① 研究会会費徴収に関しては、現在理事会にて m3 を利用した会費徴収を行うシステムを構築中。今後は会員との差別化を目的とし、非会員からの徴収を行う予定。m3 を利用するにあたり、個人登録が必要となり、クレジット決済の際には番号入力等も必要。今年度10月より利用可能予定。それまでは無徴収が無難。

② 会費を徴収し研究会が主催・共催等になるなら会計報告が必要。希望するなら山田理事に相談。

3. Web 会議システムの案内

① Web 会議システム (Meeting Owl Pro) 購入について

コロナが終息しても現在のような

Web 会議は続くことが予想される。技師会事務所における現時点での PC のみのシステムでは双方の 声が聞き取りにくい等、不都合が散見されるためこのシステムの購入に至った。技師会事務所において、各研究会会議で利用可。

4. 診療放射線技師法の法令改正に関する事項 (資料2)

7月31日より JART の e learning システムで告示研修の座学講習【会員：無料、非会員：1万円】が始まる。座学講習が終了すると、10月より実技講習【会員：1万円、非会員：2万円】が受講可能となる。

5. その他

畦元代議士の再当選への協力。自民党員の確保や各施設における署名活動をお願いする。

集めた署名は8月2週目までに技師会事務所まで。

次回の学術会議は未定。Zoomで行う予定。

《開催報告》

第 143 回茨城県 RI 研究会

開催日時: 2021 年 7 月 2 日 (金) 19:00~20:30
開催場所: Zoom オンライン Web 開催
参加者 : 20 名 (会員 15 名、他 5 名)

令和 3 年度 第 1 回茨城 CT 研究会

日時: 2021 年 8 月 24 日 (火)
午後 7 時 00 分 ~ 午後 9 時 00 分
場 所: ZOOM Webinar による Web 開催

第 22 回 放射線安全講習会

日時: 令和 3 年 9 月 4 日 (土) 14:00~15:30
(受付 13:30)
会場: on-line ミーティングシステム (zoom)
参加者: 56 名 (会員 22 名、非会員 34 名)

令和 3 年度老人ホーム慰問の報告

毎年、(社)若葉会 養護老人ホーム スプレール
みのりにて行っております敬老の日の慰問に
ついて、今年も贈り物等いたしました。施設長
鈴木寿男様より感謝のお手紙、写真が送られて
きました。



《お知らせ》

重要 会費納入について

令和 3 年度の会費納入の期限は 9 月 30 日まで
ですが、未納の方は至急お支払いをお願い致し
ます。尚、振込用紙が期限切れで振込が出来な
い時は、日本診療放射線技師会へ、振込用紙の
再発行をお願いしてください。(過年度分も同
等) 宜しく願いいたします。事務すずき

第 40 回茨城県診療放射線技師学術大会

日時: 令和 4 年 3 月 6 日 (日)
午前 9 時から午後 4 時 30 分 (予定)
会場: Web 開催
内容: 教育講座, 会員研究発表, 学生研究発表

《 会 員 動 向 》

会員数: 629 名 (R3.9.22 現在)

新入会員

飯塚 直也	牛久愛和総合病院
中根 広紀	総合病院 土浦協同病院
櫻井 佑里香	医療法人 桜丘会 水戸ブレ インハートセンター
鈴木 政司	つくば国際大学
安 祐樹	石岡循環器科脳神経外科病院
大竹 恵子	結城病院
川俣 拓海	県南病院
細島 耕史	結城病院
野口 郁人	総合守谷第一病院

再入会員

本橋 一樹	つくばセントラル病院
野田 貴史	美浦中央病院

転入者

廣木 一弘	医療法人社団ときわ会 北茨城中央クリニック
-------	--------------------------

《編集後記》

Covid-19 という言葉を耳にしてから 2 年と
なろうとしています。現在でも毎日見出しを
飾り収束の兆しが見えない状況です。会員の
皆様の施設でもストレスを感じながら業務を
行っている事と思います。先日、他部門の方
から、コロナ禍の新卒は授業形態が変化したた
め他の年度採用者と比べ丁寧に導入教育を実
施している。とのお話を聞くことができました。
本年も各施設で学生実習が始まりますが、
制限のある中でもしっかりと後進を育てる事
が出来たらと考えます。アフターコロナを見
据えて！と言われておりますが、常に工夫し
変化に対応する現在が、既にアフターコロナ
となっているのかもしれない。

編集部 小澤

